

平成 30 年度ウエスコ財団優秀研究者賞

第 3 回目となる平成 30 年度ウエスコ財団優秀研究者賞は、以下の 2 名に決定しました。

① 岩崎 真之 （岡山大学 異分野基礎科学研究所 助教）

【研究題目】 「遷移金属触媒を用いた炭素-水素結合の直截硫黄化反応の開発」
：平成 25 年度研究活動費助成事業

岩崎真之氏は、遷移金属触媒を用いた新規かつ高選択的な有機合成反応の開発について研究を行っています。これまでに開発した手法の有用性は有機合成化学だけでなく、医学・薬学・生物学など様々な分野へ貢献しています。そして、これらの研究成果は国際的に評価の高い学術誌に論文掲載され、国内外で大きく注目されています。このような学術的な功績が評価されて、今回の受賞となりました。

② 大橋 唯太 （岡山理科大学 生物地球学部 教授）

【研究題目】 「人のバイタル・モニタリングによる寒冷ストレス評価
ー冷たい局地風「肱川あらし」の事例ー」
：平成 28 年度研究活動費助成事業

大橋唯太氏は、実在する寒冷気象現象により人体が受ける寒冷ストレスについて研究を行っています。これは専門である気象学に留まらず、気象が与える生体への影響を科学的に解析しようとする独創的な研究です。そして、これらの研究成果は国際学術論文誌や国内学術論文誌に掲載され、気象学分野だけでなく、環境情報科学の視点からも高く評価されています。このような学術的な功績が評価されて、今回の受賞となりました。

平成 30 年度ウエスコ財団優秀研究者賞の表彰式は、令和元年 5 月 30 日に ANA クラウンプラザ ホテル岡山で行われ、表彰状とともに副賞（研究奨励金 30 万円）が岩崎真之氏と大橋唯太氏に贈呈されました。



左より岩崎氏・山地理事長・大橋氏

その後、受賞者による講演会を行いました。



岩崎真之氏の受賞講演



大橋唯太氏の受賞講演